



報道関係者各位

2018年2月13日

株式会社ゼネラルパートナーズ

障害者の多くは恋愛に意欲的、一方で交際相手がいる人は2割

～約500人の障害当事者に聞いた恋愛意識調査～

障害者の就労支援を中心にソーシャルビジネスを展開する株式会社ゼネラルパートナーズ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：進藤均）は、障害者のライフスタイルへの関心が高まる中、同社が運営する調査・研究機関『障がい者総合研究所』にて、障害者の恋愛についてのアンケート調査を実施しました。その結果、交際相手がいる障害者は2割に留まっており、交際相手がない人のうち7割以上が交際を望んでいることが分かりました。

<TOPICS>

- 現在 交際相手がいる人は2割、**8割は交際相手がない**
- 交際相手には障害が無い人が68%、何らかの障害がある人が32%
- 現在 交際相手がない人のうち、**7割以上が交際を望んでいる**
- 交際相手は「学校や職場」「一般の婚活・恋活サービス」で探す人が多い
- 交際相手を欲しいと思わない理由は、**「恋愛が面倒」「交際がこわい」**

調査結果

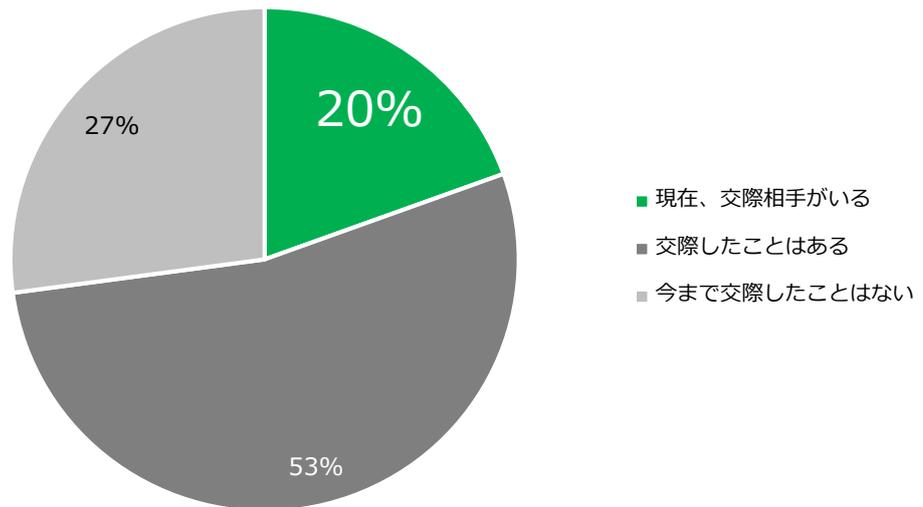
対象：障害者 478 名

調査期間：2017 年 6 月 9 日～2017 年 6 月 14 日

調査方法：インターネット調査

現在 交際相手がいる人は 2 割、8 割は交際相手がない

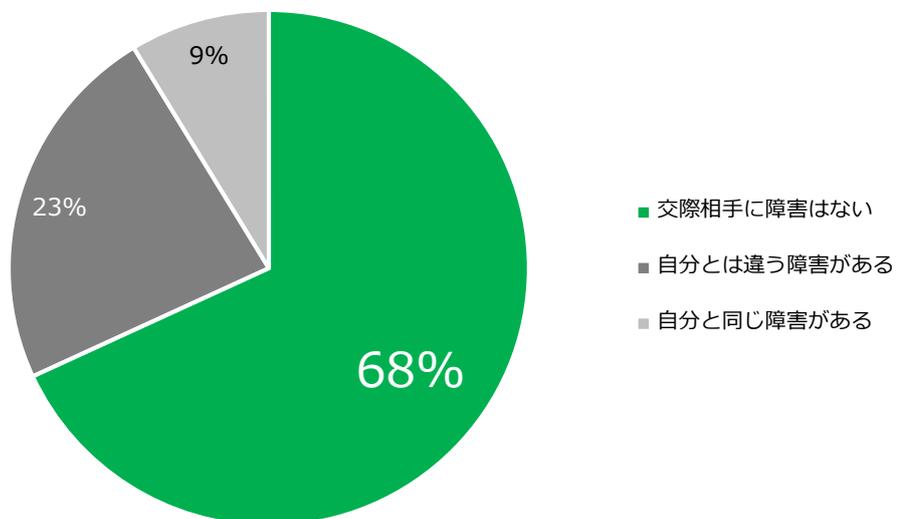
現在の交際状況は次のうちのどちらですか？



交際相手には障害が無い人が 68%、何らかの障害がある人が 32%

交際相手には障害はありますか？

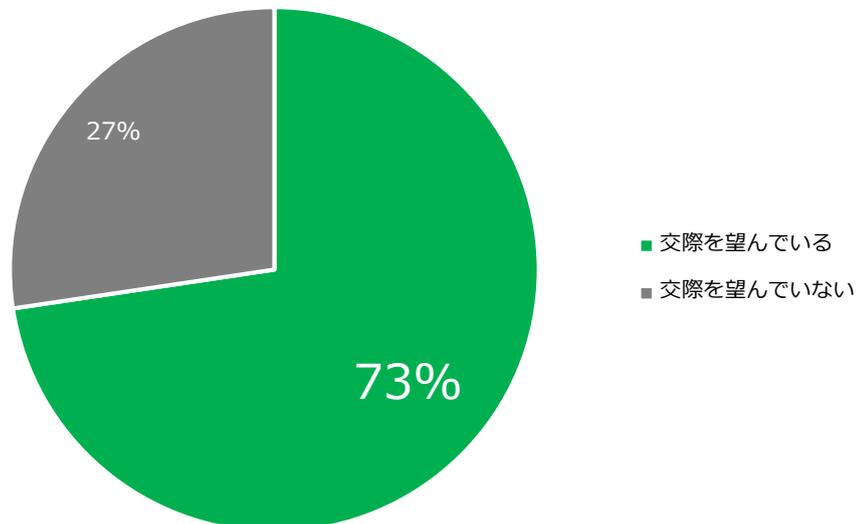
(現在、交際相手がいる人のみ回答)



現在 交際相手がない人のうち、7割以上が交際を望んでいる

現在の交際に対するお考えは次のうちどちらですか？

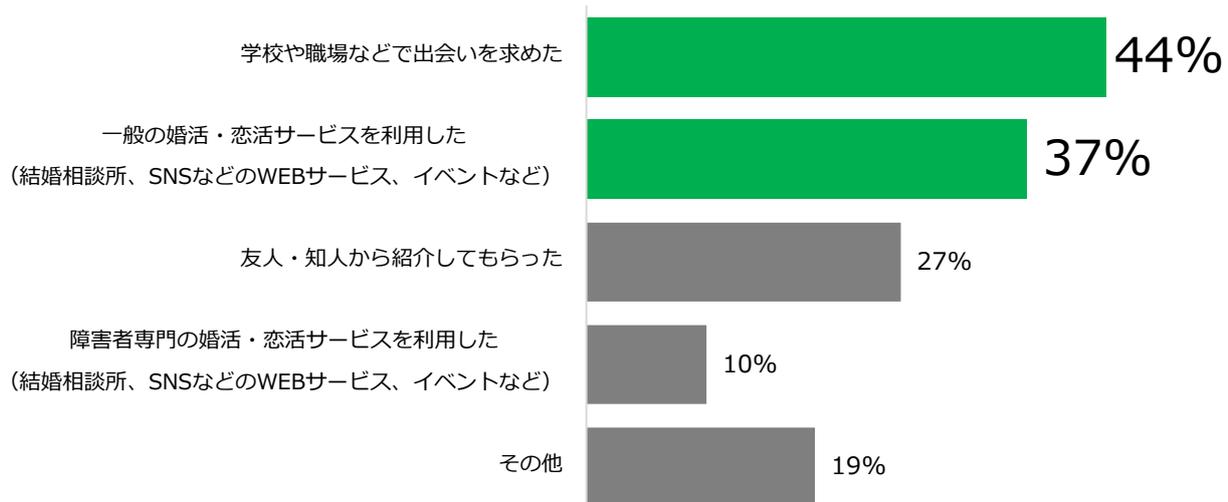
(現在、交際相手がない人のみ回答)



交際相手は「学校や職場」「一般の婚活・恋活サービス」で探す人が多い

交際相手と出会うために行動した具体的な内容を教えてください。[複数選択可]

(交際を望んでいる人のみ回答)



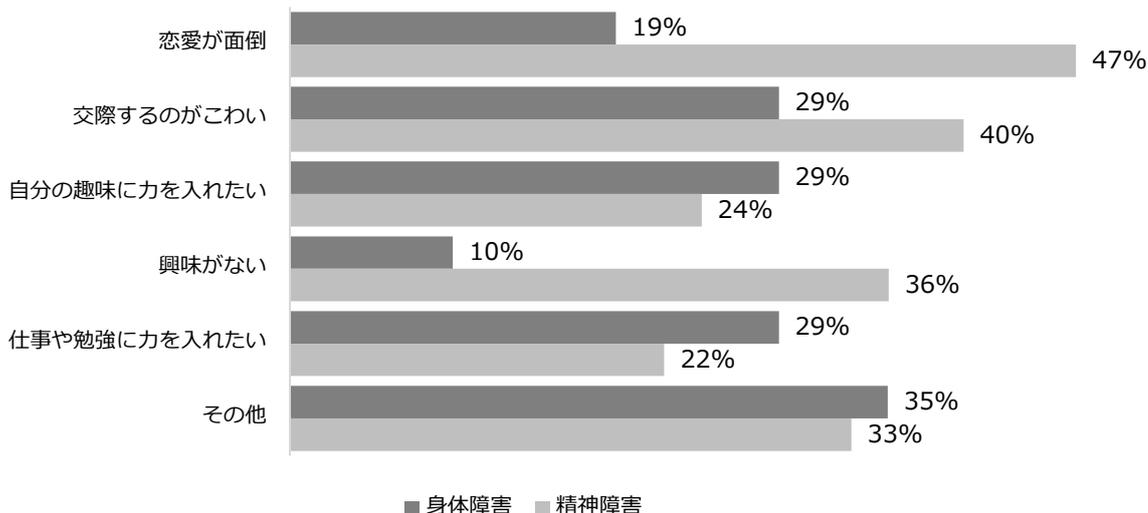
交際相手を欲しいと思わない理由は、「恋愛が面倒」「交際がこわい」

交際相手を欲しいと思わない理由は次のうち、どれに該当していますか？

(交際を望んでいない人のみ回答)



<障害別での比較>

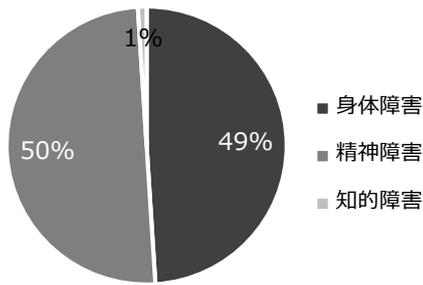


※三障害のうち、有効回答者数の多い「身体障害者」「精神障害者」のみで比較

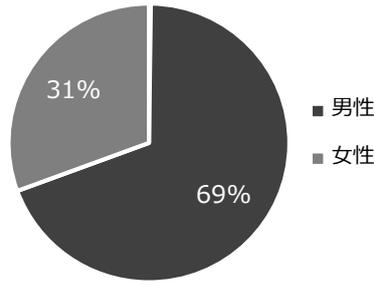
■「その他」より抜粋

- ・ 健常者同士ではできることが、自分の障害が壁となりできないことが多々ある (男性/20代/身体障害)
- ・ 人と深く関わりたくない。一人でいたい (女性/20代/精神障害)
- ・ 他者と過ごす疲れのため (女性/20代/精神障害)
- ・ 健常者のなかで自分は恋愛対象に入らないと思う (男性/20代/身体障害)
- ・ 交際するだけの資金的、精神的余裕がない (男性/30代/精神障害)
- ・ 理解されにくい病気のため、病気のことを話すのが怖いし、先に結婚の無い交際は年齢的に難しいと思うので (女性/30代/身体障害)
- ・ 大切に想う人だからこそ、病気で迷惑をかけるのが嫌 (男性/30代/精神障害)
- ・ 障害を受け入れてもらえないと思う (女性/40代/精神障害)
- ・ 障害への理解を得るのが難しく、理解を得る努力が病状的に辛く負担となる。また毎週会うなど約束が難しい (女性/40代/精神障害)
- ・ 日々を過ごすだけで手一杯 (女性/40代/身体障害)
- ・ パートナーに苦勞をかけるから (男性/50代/身体障害)

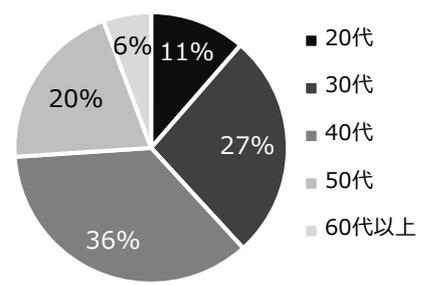
障害区分



性別



年代



<障がい者総合研究所 所長 中山伸大からのコメント>



今回の調査は、障害者の恋愛に関する意識や実態を明らかにすることを目的に実施しました。調査対象者のうち、交際相手がいる人は 20%、交際相手がない人は 80%。一般向けに実施された同様の調査（国立社会保障・人口問題研究所「第 15 回 出生動向基本調査」）では、交際相手がない人の割合は 2015 年時点で男性 70%、女性 59%であることから、障害者のほうが、交際相手がない人の割合が高いことが分かりました。一方、交際相手がない人の交際意向については、今回の調査対象者の 73%が交際を希望しているのに対し、上記一般向けの調査では半数以下であることから、障害者のほうが「恋愛したい」と考えて

いる様子が見えてきます。また、これらの「恋愛したい」と考える障害者の約 4 割が「学校や職場」「一般の婚活・恋活サービス」などで出逢いを求めたと回答していることから、交際相手を探すため、実際に行動もしていることが分かりました。今回の調査を通じ、多くの障害者が、恋愛したいと考えていても、交際できていないことが分かりました。また、交際を望んでいない人の中には「恋愛するのがこわい」という声も多く、恋愛に対して前向きになれていない人も多いようです。そのため、交際や結婚につながる出会いを促進するだけでなく、幸せな恋愛ができていない事例など、安心して前に踏み出せるような情報を提供していくことも必要だと思われます。

※本調査結果の引用の際は、「株式会社ゼネラルパートナーズ 障がい者総合研究所調べ」とクレジットを明記ください

《株式会社ゼネラルパートナーズについて》

障害者専門の人材紹介会社として 2003 年 4 月に創業。その後「就職・転職サイト」「障害別の教育・研修事業」「農業生産事業」など、幅広い事業を展開している。2016 年には障害者アスリート、2017 年には難病者の支援も開始するなど、その対象も大きく広がっており、これまで就職や転職を実現した人の数は 5,000 人以上。障害者をはじめ、不登校、ひきこもり、LGBT など様々な不自由を抱える方々が、『自分らしくワクワクする人生』を実現できることを目指し、事業を拡大している。

会社名 : 株式会社ゼネラルパートナーズ
 代表者 : 代表取締役社長 進藤均
 URL : <http://www.generalpartners.co.jp/>

本社所在地 : 〒104-0031 東京都中央区京橋 2-4-12 京橋第一生命ビル 3F
 業務内容 : 障害者専門の人材紹介事業、求人情報事業、教育・研修事業、農業生産事業、調査・研究機関 など

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社ゼネラルパートナーズ 広報担当：田島

TEL:03-3270-5573 FAX:03-3270-6600 Mail:media-pr@generalpartners.co.jp

